北部家畜保健衛生所管内で
牛流行性感冒の予防注射を開始

萩農林事務所畜産部
平成 21 年 4 月 6 日

牛の流行性感冒（イバラキ病、牛流行熱）は、ウイルス性の法定伝染病（家畜伝染病予防法）で、蚊やヌカカなどの吸血昆虫により媒介され、呼吸器系や運動器系の異常、嚥下障害などを示す病気。

北部家畜保健衛生所管内では、本病を予防するため平成21年4月6日からワクチン接種を開始、約800頭を実施予定。

牛をしっかり保定

予防注射を実施